



プレス リリース



健康立県にいがた

「ニューノーマル時代の歯磨きの新しい意味とは？」

～ 歯磨剤を用いた歯磨きで新型コロナウイルス感染を予防できる可能性が明らかに ～

日本歯科医師会はこのほど、「新型コロナウイルスなど感染症対策における歯科の重要性」に関する情報として、神奈川歯科大学副学長の槻木恵一氏が執筆・監修した「ニューノーマル時代の歯磨きの新しい意味とは？」をホームページに掲載しました。

歯磨剤に含まれる比較的有名な成分には、ラウリル硫酸ナトリウムなどがあります。槻木副学長らの共同研究で、歯磨剤や洗口剤に広く使われている複数の成分が、新型コロナウイルスの生体への結合や侵入をブロックする可能性が明らかになりました。さらに、IgAの活性には影響を与えないことから、生体の持つ免疫機構を阻害しないことも分かってきています。

口腔に侵入してきた新型コロナウイルスは、歯磨剤を用いた歯磨きで感染を予防できる可能性があります。また、既に口腔に感染している新型コロナウイルスは、歯磨剤を用いた歯磨きでウイルス量を減少させることも期待されます。

ニューノーマル時代の歯磨剤を用いた歯磨きは、むし歯や歯周病の予防と同時に、科学の力によりウイルス感染対策という新しい役割が見いだされたといえるのではないのでしょうか。歯磨きは、誰でも気軽にできる健康のための第1歩です。ぜひ、歯磨きを積極的にしていきましょう。

槻木副学長らの共同研究の内容は、3月19日～22日にオンラインで開催される「日本化学会第101春季年会」において発表予定です。

■「新型コロナウイルスなど感染症対策における歯科の重要性」

・ニューノーマル時代の歯磨きの新しい意味とは？

<https://www.jda.or.jp/corona/New-normal.html>

●ウイルス感染予防のための歯みがきについて

最近、新型コロナウイルスの集団感染に関して、いくつかある可能性のひとつとして例示された歯みがき時の「飛沫」や「唾液がついた蛇口」が、あたかも感染原因であるかのような報道がありました。こういったミスリードに惑わされ、昼食後の歯みがきなどを中止する学校や企業が増えています。また、口腔衛生教育の一環として毎年実施されている全国小学生歯みがき大会への参加を見合わせる動きも伺えます。

歯みがきで口腔内の細菌数を減らすことは、むし歯や歯周病を予防するだけでなく、ウイルス感染症を予防することにつながるため、歯みがきはとても重要です。特に学校において、口腔衛生の教育の場として重要な役割があります。

歯みがきをする際や使った歯ブラシを洗浄・保管する際は、次の事項に注意しましょう。歯ブラシを清潔に保つことが大切です。

◎職場や学校の洗口場で磨く場合

- 換気に留意するとともに、3密を避け、一度に多くの人が磨くことがないようにする。
- 飛沫が飛び散らないように口を出来るだけ閉じて注意しながら、歯ブラシを静かに小刻みに動かし大きく動かさない。
- 歯みがきをしながら会話や動き回らない。
- 口をゆすぐ時は勢いよく吐き出さず、顔を流し場に近づけてそっと吐き出す。または、コップに吐き出すようにする。
- コックのある蛇口を使用する際は、手を触れず紙やタオルなどを使う。

◎部屋や教室など室内で磨く場合

- 口をゆすぐときは一回のゆすぎで、コップ等に吐き出す。
- 磨いた後、机や手鏡をアルコール等で拭く。

◎歯ブラシの洗浄・保管方法

- 口をゆすぐときは一回のゆすぎで、コップ等に吐き出す。
- 磨いた後、机や手鏡をアルコール等で拭く。

参考：・日本学校歯科医会 HP「学校における歯みがきについて」

https://www.nichigakushi.or.jp/news/corona2_qa.html

・日本小児学会 HP「小児の新型コロナウイルス感染症 2019(COVID-19)に関する医学的知見の現状」

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=342

・Bulletin of the World Health Organization : the International Journal of Public Health 2005 ; 83(9) : 677-685

「Health-promoting schools: an opportunity for oral health promotion」

https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/73276/bulletin_2005_83%289%29_677-685.pdf?sequence=1&isAllowed=y

一般社団法人新潟県歯科医師会 担当 広報広聴部 石黒
〒950-0982 新潟市中央区堀之内南 3-8-13
TEL 025-283-3030 FAX 025-283-669